

日交研シリーズ A-637  
平成 26 年度研究プロジェクト  
通信販売事業者の配送ネットワーク構築に関する研究  
刊行：2015 年 10 月

通信販売に対応した宅配便ネットワークの再構築と配達効率改善に関する研究  
Reconstruction of the Parcel Delivery Network and Improvement of Delivery Efficiency

主査：林 克彦（流通経済大学教授）  
Katsuhiko HAYASHI

要 旨

ネット通販の発展を受けて、宅配便の B to C での利用は拡大しており、即日配達、時間・場所指定、電子マネー決済などサービスの高度化が進んでいる。宅配便事業者のなかには、即日配達地域を拡大するため東名阪に大規模施設を設置したり、通販事業者の在庫保管と管理を受託して自ら仕分けて配達網にのせることにより、リードタイムを短縮しようとする動きも活発化している。とくに最近の通販事業では、配達の迅速性が差異化の鍵となっており、即日配達に対応した宅配便ネットワークの構築が重要となっている。

配達の迅速性を実現する一方で、個人宅向けの荷物が多い通販の配達においては、不在による再配達の前減によって配達の効率性を高めることも重要である。そこで、配達のラストマイルネットワークでは、自転車や台車を用いて小回りをきかせ、配達の効率性や環境に優れた配達サービスを構築しようとする動きもある。

また、海外への宅配便需要を考慮した国際ネットワークの構築も進んでいる。中国や東南アジア各国の国内配達需要の把握とそれらの国々と日本を結ぶ越境ネットワークの拡充は、宅配便事業者と通販事業者の発展に重要となりうる。

以上を踏まえ、本研究では、宅配便の即日配達とラストマイル部分の効率性に対応したネットワークの再構築と海外市場への進出可能性についての考察を行った。まず、宅配便事業の成長を技術革新とイノベーションの観点（1 章）とネットワークの変化という観点（2 章）から分析を行った。次に、ネット通販物流の先進国である米国の取り組みについてまとめた（3 章）。そのうえで、日本国内の宅配便事業者のラストマイルネットワークにおける取り組みの効果（4 章）とネット通販、宅配便、消費者の関係性（5 章）について分析した。そして、中国と東南アジアにおけるネット通販市場の最近の動向と宅配便市場の概況についての整理を行った（6 章・7 章）。

キーワード：ネット通販、宅配便、ネットワーク再構築、即日配達、ラストマイルネットワーク、越境ネットワーク

Keywords : Online Shopping, Parcel Delivery, Network Reconstruction, Same Day Delivery, Last Mile Network, Cross Border Network